

林いさお通信



Together !!

共に!!

ブログ : <http://pikaichino.exblog.jp/> Tel 049-259-2228
 討議資料 No. 107 三芳の雪害被害 26年2月24日号 林いさお後援会



雪で潰れた鉄骨のビニールハウス(上富の農家)

三芳町の農業被害

3億円を超える!

2月14日から降り出した記録的な大雪により各地で大きな被害が出ました。当町でも、住宅の瓦が雪で落ちたり、倉庫の屋根が雪でつぶれる(各1件)などのほか農業への被害もありました。

◆県内初! 機能別消防団発足

埼玉新聞 2月7日

団員不足でOB登用

「機能別消防団」を発足

三芳町消防団は6日、OBからなる「機能別消防団」を新発足させ、4人に発令を交付した。消防団員の不足を解消する制度として期待されており、県内では実質的に初めての制度がスタートした。人口が約3万8千人の同町では、入間東部地区消防組合三芳分署の消防員のほか、1本部5分団の消防団が活動。80人が所属し、年に20回前後発生する火災などで出動している。



が表面化する中、OBやボランティアの「支援隊」が活動している。しかし、ボランティアは消防車の運転や同乗できない。今回は、機能別団員となったのは、同町竹間沢地区の45、54歳の分団長を経験したベテランで、4人も本部所属となる。

ないなどの制約があったため、OBが活動しやすい対策を検討してきた。消防団員は45歳までが基本だったが、消防組合は昨年9月、「消防団条例」を改正し、60歳未満の経験者が加入できる「機能別団員」制度を新設し、昼間の火災や大規模災害に出動できることにした。今回、機能別団員となったのは、同町竹間沢地区の45、54歳の分団長を経験したベテランで、4人も本部所属となる。農業小畑勝美さん(45)は18年間、農業の傍ら消防団員と辞令交付を受けたOBメンバー(前列左右の4人)も6日、三芳町

広報みよし3冠、全国へ

平成26年全国広報コンクール埼玉県推薦作品が決定し、応募総数59作品の中から、広報みよしが3部門(町村広報紙、一枚写真、組み写真)で特選に選ばれ、全国広報コンクールに、埼玉県推薦作品として提出されることになりました。

して活動してきたが、3月で消防団員の活動を終える。これまでの制度では今後、消防車を操作できないが、新制度で可能となる。「協力し合って、地元で災害が起きたときなどに貢献したい」と抱負を語った。(福井広信)

枚写真 部は初 めての特選となりました。

埼玉県によると、埼玉県内の農業被害は、県北部を中心に55市町村で計229億円に達したとの発表がありました。現在、当町でも被害総額を調査中ですが、パイプハウスの倒壊は14棟、農業用トンネルの損壊による野菜への被害は全町におよび、3億円を超える被害になる模様です。農業用トンネルでは、ほうれん草、小松菜、水菜などを栽培中で、トンネルが潰れたことにより出荷時期を迎えた野菜などによる被害総額を集計したものです。埼玉県町村会でも、2月20日役員会を開催し、上田知事に対し、迅速に農家救済をすべく雪害被害対策に関する要望書を提出させていただきました。雪害に対して独自の助成を実施している自治体はほとんどなく、国や県に被害農業者の経営再建に必要な資金融通の円滑化を図るための措置等を要望していきたいと思います。また、町では、当日、職員の災害対策グループの出動や、三芳町災害対策協力会に依頼し除雪等を行いました。被害のあった皆さま方に心からお見舞い申し上げます。